

システム情報工学研究科特定課題研究報告書概要

| | | | |
|---|------------------|---------------------------------|--------------|
| 年 度 | 平成 22 年度 | 学位名 | 修士(ビジネス) |
| 専 攻 | 経営・政策科学 | 専攻 | 池上 祐基 |
| 指導教員氏名 岡田 幸彦 | | | |
| 報告書題目 <div style="text-align: center;"> “つくばナース”育成モデルの改善提案 (“つくばナース”の患者との関係における社会的スキル分析) </div> | | | |
| 報告書概要 <p>本研究の研究目的は筑波大学附属病院看護部の看護師の患者との関係における社会的スキルが学歴間でどのような差があるのかを明らかにすることであった。筑波大学附属病院看護部の看護師 514 名を対象とし、アンケート調査を実施した。尺度については菊池(1988)の KiSS-18 と、SERVQUAL をもとに、病院側との話し合いながら患者との関係における社会的スキル尺度を作成した。本調査では、対象者 514 名のうち 369 名から回答を得た。回収率は 71.8%であった。このうち回答の記載がない 78 名分を除外し、291 名を分析対象とした。</p> <p>調査の結果、筑波大学付属病院の看護師の患者との関係における社会的スキルは学歴ごとに有意な差は認められなかった。また病棟間でも比較を行ったが、有意な差は認められなかった。しかし年齢間での比較を行ったところ、20 代と 40 代の年齢群で有意な差が認められ、20 代よりも 40 代の看護師のほうが、患者との関係における社会的スキルが高いことが分かった。また、患者との関係における社会的スキル得点の病棟別標準偏差の比較では、精神病棟の標準偏差が最も大きくなっていることが分かった。そこで精神病棟の看護師の患者との関係における社会的スキルを詳しく見てみると、患者との関係における社会的スキルの全体平均は 45.2 となっており、この平均値に満たない看護師の割合は急性期病棟 42.5%、亜急性期病棟 47.4%、一般病棟 41.6%、周産期病棟 36%、精神病棟 63.6%と精神病棟が最も多くなっている。</p> <p>これらの結果から、若い看護師、特に 20 代の看護師に対して、精神病棟の看護師に対しては改善の余地があるといえる。</p> | | | |
| 審査日 | 平成 23 年 1 月 31 日 | | |
| 審査員 | (大学名 職名) | (学位) | (氏名) |
| 主査 | 筑波大学 准教授 | 博士(理学) | 原田 信行 |
| 副査 | 筑波大学 准教授 | Ph.D.in Organizational Behavior | 渡辺 真一郎 |
| 副査 | 筑波大学 准教授 | 博士(商学) | 岡田 幸彦 |
| 副査 | 筑波大学 准教授 | Ph.D.in Economics | ターンブル S. ジョン |